

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード：120303

小児看護学概論 Child Development and Child and Family Health Nursing

担当教員	西村 真実子				
実務経験					
開講年次	2年次後期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	子ども 成長・発達 養育環境 養育者 発達を支える・促す				
学習目的・目標	目的：小児看護の理念を育むために、子どもの成長・発達や養育環境、および子どもの発達や健康をサポートする看護の役割・機能を学ぶ。目標：1. 子どもの成長・発達および関連する理論について理解する。2. 養育環境や子育て、子どもの成長・発達をサポートするときの子どもへの関わり、養育者への支援について理解する。3.子どもの成長・発達や子育てに関する問題およびそれへの対応(養育者の関わり、保健・福祉の支援策等)について理解する。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	1) 小児看護の目的・原理 2) 小児看護の枠組み（対象、場、倫理等） 3) 小児看護の役割 4) 子どもの成長・発達の原則・影響要因				
2、3	形態的・機能的発達 1)身体発育・形態的発達、発育指標 2)機能的発達、予防接種 3)発達検査 4)運動機能の発達				
4	小児期の栄養とその支援 1)母乳栄養、人工栄養、離乳食 2)摂食機能の発達 3)幼児期の栄養、近年の食事・栄養に関する問題				
5～6	心理社会的発達：情緒、自我・社会性（対人関係）、言葉、認知・思考の各側面				
7	社会化(しつけ)への関わり 事故防止				
8	子どもと家族に関する近年の問題(少子化、子ども虐待、子育て不安、不登校等)				
教科書	中野綾美編：ナーシング・グラフィカ28 小児看護学：小児の母親と看護、メディカ出版、2006				
参考図書等	長田久雄編：看護学生のための心理学、医学書院、2002 前川喜平監修、井原成男：親と子の心のカルテ、新興医学出版社、1998				
評価指標	1 出席状況 2 各回の初めに行う小テスト 3 定期試験80％ 4 レポート課題20％ 1) ビデオ「さくらんぼ坊や」の感想等 2) 発達段階別子どもの成長・発達とアプローチの要点のまとめ				
関連科目	小児看護方法論 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ				
教員から学生へのメッセージ	子どもの成長・発達と子育ておよびそれに対する看護の役割について述べていきます。子どもをイメージしやすいようにビデオを使いますが、街中等で見かける子どもたちや親子の様子を意識して観察してみてください。				